

安心と充実を目指して ～ 令和3年度 教員研修を振り返って ～

福島県特別支援教育センター 主任指導主事 加藤 賢一

令和3年度の教員研修も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの運営となり、受講者の皆様には様々な面で御理解、御協力をいただくことになりました。受講された皆様には、あらためて感謝申し上げます。

今年度の研修運営につきましては、当センターの環境面の感染防止対策と併せて、手指の消毒や黙食、ソーシャルディスタンス等、受講者同士が互い気を配り、感染防止に対する意識を高くもっていただくよう掲示や呼びかけ等を徹底し、安心して研修に専念できるよう努めて参りました。

実施状況につきましては、昨年度は中止にせざるを得ない研修がいくつかありましたが、今年度は、オンラインによるライブ配信や録画配信を駆使して、すべての研修講座を実施することができました。また、基本研修においては、協議についてもオンラインでスムーズに行えるようになり、研修の質を落とさずに実施することができました。受講者数については以下の通りです。

基本研修(特別支援学校教員対象)				職能研修	専門研修	受講者総数
初任者研修	2年次教員フォローアップ研修	5年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修			
42名	65名	61名	40名	483名	428名	1,119名
※ 公開講座18名						

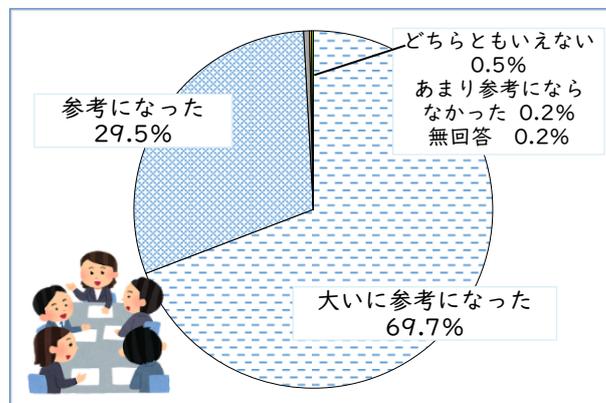
今年度の総受講者数は1,119名で、昨年度の受講者数785名を大きく上回る結果となりました。コロナ禍であっても「教員の学びを止めない」という思いと、受講者の皆様の御理解と御協力により、安全安心な研修運営に努めることができた成果であると考えております。

<研修受講後のアンケートから>

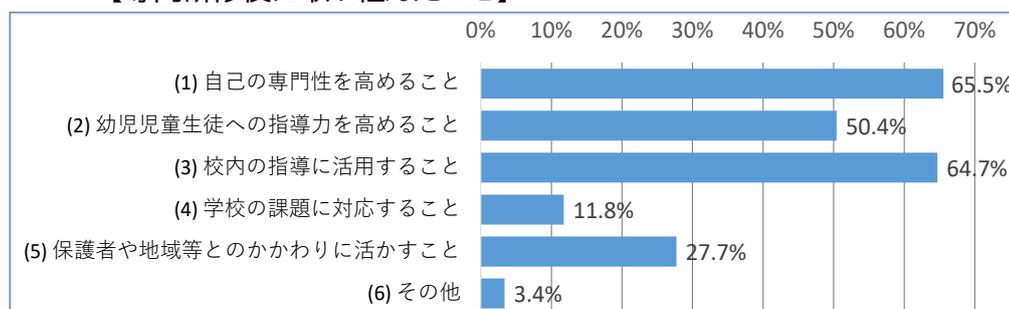
当センターの研修講座では、各研修講座について、アンケートを実施しております。オンラインに変更になった研修も多くありましたが、全体的に参考になったという評価を多数いただき、受講者ニーズに応える内容で実施することができたと考えております。

また、特別支援学校の専門研修受講者には、受講後一定期間経過してから研修内容の活用状況等についてアンケートを実施しています。受講後に研修で学んだ実践的な知識や技能、情報を授業や校務に生かして、自校の教育活動の充実に向けていただいていることが分かりました。

【研修全体(基本・職能・専門)の評価】



【専門研修後に取り組んだこと】



今後も各ステージに応じた指標に示された内容、職能ニーズに応える内容、専門性向上と実践力、指導力の育成を目指す内容について国や県の動向を踏まえながら、研修講座の充実に努めていきたいと思っております。